

単位：千円

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【農政課】</p> <p>農林水産業共同利用施設災害復旧事業費</p>	<p>1,197 (-)</p> <p>国 1,197</p>	<p>1 農林水産業共同利用施設災害復旧事業費 1,197</p> <p>大雪で被害を受けた共同利用施設（獣害防止柵）の復旧に要する経費の一部を支援する。</p> <p>0 → 1,197</p>
<p>【みらいの農業振興課】</p> <p>農業生産環境対策事業費</p>	<p>440,000 (20,195)</p> <p>国 212,716</p> <p>⊖ 227,284</p>	<p>1 肥料価格高騰対策緊急支援事業 440,000</p> <p>肥料価格の急激な高騰により経営に大きな影響を受けている農業者の負担を軽減するため、国の支援に併せて、肥料コスト上昇分に対し、緊急的に支援する。</p> <p>0 → 440,000</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【畜産課】</p> <p>肉用牛振興対策費</p>	<p>19,416 (238,412)</p> <p>⊖ 19,416</p>	<p>1 キャトル・ステーション運営費 19,416</p> <p>近江牛の地域内一貫生産体制の強化を図るため、子牛の哺育、育成を担う生産拠点施設（キャトル・ステーション）を運営する。</p> <p>223,085 → 242,501</p> <p>畜産技術振興センターの家畜に与える飼料価格や電気料金の高騰に伴う増額</p>
<p>育成牧場運営費</p>	<p>10,476 (49,858)</p> <p>⊖ 10,476</p>	<p>1 高品質近江牛づくり推進事業 8,495</p> <p>畜産技術振興センターで生産した高品質の雌子牛を農家へ譲渡するため、育成牧場での優良繁殖雌牛の整備と効率的な改良を図る。</p> <p>41,449 → 49,944</p> <p>畜産技術振興センターの家畜に与える飼料価格の高騰に伴う増額</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【水産課】</p> <p>流通対策費</p>	<p>3,100 (22,202)</p> <p>国 3,100</p>	<p>1 水産業養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業費 3,100</p> <p>養殖用配合飼料の高騰により経営に大きな影響を受けている養殖業者の負担を軽減するため、国が実施する漁業経営セーフティネット構築事業において補填金として取り崩しされた養殖業者積立金の一部を支援する。</p> <p>0 → 3,100</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【耕地課・農村振興課】</p> <p>土地改良公共事業</p>	<p>124,564 (6,098,002)</p> <p>国 145,215</p> <p>分 △17,751</p> <p>起 △2,900</p>	<p>1 土地改良公共事業 124,564</p> <p>農業生産基盤、農村生活環境基盤の整備事業および農地、農業水利施設の防災事業。</p> <p>6,098,002 → 6,222,566 執行計画の見直しに伴う増額・減額</p> <p>(1) 補助公共事業 124,564</p> <p>6,063,002 → 6,187,566</p> <p>① 県営かんがい排水事業費 △118,146</p> <p>1,801,033 → 1,682,887</p> <p>② 県営経営体育成基盤整備事業費 33,584</p> <p>568,427 → 602,011</p> <p>③ 県営農道整備事業費 △38,850</p> <p>182,700 → 143,850</p> <p>④ 県営みずすまし事業費 31,500</p> <p>70,875 → 102,375</p> <p>⑤ 団体営土地改良事業費 182,532</p> <p>1,438,268 → 1,620,800</p> <p>⑥ 県営農地防災事業費 △5,250</p> <p>1,430,471 → 1,425,221</p> <p>⑦ 団体営農地防災事業費 39,194</p> <p>305,504 → 344,698</p>

単位：千円

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
団体営農地農業用施設災害復旧事業費	180,124 (146,941) 国 179,531 ⊖ 593	1 団体営農地農業用施設災害復旧事業費 180,124 豪雨等により被災した農地および農業用施設の速やかな原形復旧を図る。 146,941 → 327,065 7月から8月の大雨による被災箇所への対応に伴う増額